

アルツハイマー病の新しい治療薬が登場!

新年あけましておめでとうございます。アルツハイマー病の新しい治療薬『レカネマブ(レケンビ®)』が令和5年12月20日から保険適応の対象となりましたので、ご紹介します。

● アルツハイマー病とは?

認知症とは何らかの病気や障害などの様々な原因によって認知機能が低下し、生活に支障をきたすようになった状態です。認知症にはアルツハイマー型、レビー小体型、前頭側頭型、血管性認知症などがあります。アルツハイマー型認知症の原因となるアルツハイマー病は、「アミロイドβ」というタンパク質が脳にたまることで、脳の神経細胞が壊れ、認知力が低下する病気です。

● 従来の認知症薬との違いは?

従来の認知症薬(例:アリセプト®やメマリー®)は対症療法(症状の緩和)が目的で病気そのものに作用するものではありませんでした。しかし、今回の新しいアルツハイマー病治療薬『レカネマブ(レケンビ®)』は、脳にたまったアミロイドβを取り除き、アルツハイマー病の発症・進行を抑える薬として国内で初めて承認されました。

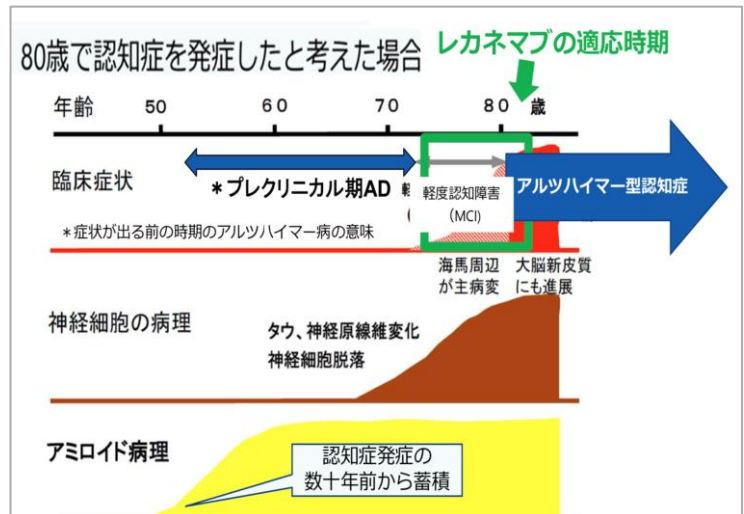
● 投薬対象や使用条件は?(右図)

対象はアルツハイマー病による認知機能障害が軽度の方のみで、他の原因による認知機能障害や重度の方には使用することができません。かかりつけ医から専門の医療機関に紹介の後に、様々な精密な検査を行なって適応を判断されます。

● これからの発展に期待です

今回、画期的なアルツハイマー病治療薬ですが、使用条件などが厳しく、実際に使用できる人は少ないと思われます。ともあれ人類と認知症との戦いの中で一筋の光明が差したのでは?と期待したくなりますね。

| 新しい治療薬の特徴 | |
|-----------|--|
| 投与対象 | <ul style="list-style-type: none"> ○アミロイドβがたまっていることが検査で確認できた方 ○軽度認知障害(MCI)や軽度の認知症の方のみ ○他の原因が重複していないこと |
| 使用条件 | <ul style="list-style-type: none"> ○2週間に1度、点滴 ○脳画像診断の検査ができる医療機関で定期的な検査が必要あり ○薬の費用、年間約300万円 <p>医療保険が適用されることで、自己負担額は1~3割となる。高額な医療費の場合、患者の所得に応じて一定額が払い戻される「高額療養費制度」により、実際の負担はさらに抑えられる見通し。例えば、70歳以上の一般所得層の場合、外来による負担額の上限は年間14万4000円になる(引用:毎日新聞)</p> |



参考:厚生労働省 アルツハイマー病の新しい治療薬について https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000089508_00005.html



オンライン体操教室に、ご自宅で参加してみませんか？

スイッチオン！オンライン体操教室とは、毎月1回弊社デイサービスの事業所間をオンラインでつないで、開催している体操教室です。老若男女どなたでも心と体がほぐれ、自ずと眠れる遺伝子がスイッチオンされる体操です。

【認知症予防に！スパイダー男体操！】



体操教室の様子

QRコードを読み取り
ご視聴ください。

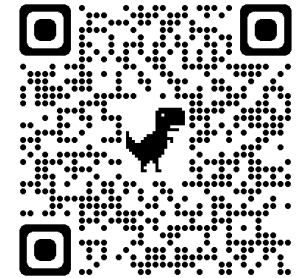
● ご自宅のスマホ・タブレットから体操教室に参加してみませんか？

簡単な体操ですので、当日LIVE配信、お気軽にご参加ください。QRコードの読み取りなど、接続について不明な点がございましたら、弊社職員へお問い合わせください。

次回開催日：R6年 **1** 月 **26** 日（金）

開催時間：**14** 時 開始（約45分間）

場所：お手持ちのスマホ・タブレット端



こちらのQRコードから
当日、LIVE配信を視聴できます